

令和4年度技術士第二次試験問題〔建設部門〕

9-3 都市及び地方計画【選択科目Ⅱ】

II 次の2問題（II-1, II-2）について解答せよ。（問題ごとに答案用紙を替えること。）

II-1 次の4設問（II-1-1～II-1-4）のうち1設問を選び解答せよ。（緑色の答
案用紙に解答設問番号を明記し、答案用紙1枚にまとめよ。）

II-1-1 近年の激甚化・頻発化する自然災害に対応するため、立地適正化計画においては、災害の危険性の高いエリア（災害ハザードエリア）に居住誘導区域を定めないとされ、特定都市河川浸水被害対策法の改正では、新たに災害ハザードエリアを指定する制度が設けられた。

これらの災害ハザードエリアのうち、住宅等の建築や開発行為等が規制される区域名を複数挙げ、そのうち2つの区域について、区域の概要と規制の内容を説明せよ。

II-1-2 街路事業について、新規事業採択時評価として行うB/C（費用便益比）の算定方法を、計上する便益（十分な精度で計測できる金銭表現可能な基本3便益）を明らかにして、述べよ。また、基本3便益以外のストック効果を複数挙げよ。

II-1-3 市街地における道路は、建築物との関係において、単に通行の場であるのみならず、建築物の利用、災害時の避難路、消防活動の場、建築物等の日照、採光、通風等の確保など安全で良好な環境の市街地を形成するうえで極めて重要な機能を果たしている。

こうした道路の機能が発揮できるよう、建築基準法に定められている、周辺の道路の状況によって建築物やその敷地に課せられる規制を2種類挙げ、それぞれの特徴を説明せよ。

II-1-4 都市の農地については、平成3年の生産緑地法改正による生産緑地制度のもと平成4年に三大都市圏で一斉に生産緑地地区が指定され、平成29年の法改正で、特定生産緑地制度が設けられた。

平成3年の法改正による生産緑地制度の概要を説明したうえで、特定生産緑地制度を必要とした背景及び制度の概要について説明せよ。

II-2 次の2設問（II-2-1, II-2-2）のうち1設問を選び解答せよ。（青色の答案用紙に解答設問番号を明記し、答案用紙2枚を用いてまとめよ。）

II-2-1 ある地方都市の歴史的風致維持向上計画の重点区域内の地区において、歴史的な建築物や町家が残る一方、周辺の景観になじまない店舗やマンションの建設が進み、良好な景観が失われつつある。

当該地区において、歴史的な景観を生かしながら、街なみ環境を整備するまちづくり整備計画を策定することとなった。

あなたが、本業務の担当責任者として、当該地区のまちづくり整備計画の案の作成に従事するものとして、下記の内容について記述せよ。

- (1) 適用が考えられる規制誘導手法及び整備手法をそれぞれ1つ以上挙げ、その適用方法を具体的に説明せよ。
- (2) 業務を進める手順を列挙して、それぞれの項目ごとに留意すべき点、工夫を要する点を述べよ。
- (3) 業務を効率的、効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

II-2-2 A市では、収容規模1万人の競技場を主要施設とする運動公園を管理している。これまでには、本公園全体を市が直営で管理していたが、民間事業者等の活力の活用により経費の節減を図りつつ利用者へのサービスの質及び量を維持・向上させるために、主要施設である本競技場を対象に指定管理者制度を新たに導入することとなった。本制度を導入するために措置した条例において指定管理者は公募により選定することや利用料金制度を適用することは決まっており、公募に向けて、今後、詳細な検討を行ったうえで必要な手続を進めることとなっている。

あなたが、この業務の担当責任者として、今後、詳細な検討及び必要な手続を進めに当たり、下記の内容について記述せよ。

- (1) 指定管理者の公募の際に示す事項のうち、本制度の導入目的の達成に向けて民間事業者等の活力を引き出すうえで重要な事項を2つ以上挙げ、それぞれの事項ごとに検討すべき内容について説明せよ。
- (2) 今後の詳細な検討及び必要な手続として、指定管理者が指定管理業務を開始する前までの間にA市が行う業務の手順を列挙して、それぞれの項目ごとに留意すべき点、工夫を要する点を述べよ。
- (3) 業務を効率的、効果的に進めるための関係者との調整方策について述べよ。

令和4年度技術士第二次試験問題〔建設部門〕

9-3 都市及び地方計画【選択科目III】

III 次の2問題（III-1, III-2）のうち1問題を選び解答せよ。（赤色の答案用紙に解答問題番号を明記し、答案用紙3枚を用いてまとめよ。）

III-1 中核市などの地方都市においては、コンパクト・プラス・ネットワークの実現に向け、多様な関係者が連携し、まちの中心となる駅まち空間（駅・駅前広場と周辺街区）を魅力ある空間として再構築を行うことが求められている。

このような状況を踏まえ、以下の問い合わせ答えよ。

- (1) 地方都市における駅まち空間の再構築を進めるに当たっての課題を、技術者としての立場で多面的な観点から3つ抽出し、それぞれの観点を明記したうえで、その課題の内容を示せ。
- (2) 抽出した課題のうち最も重要と考える課題を1つ挙げ、その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) 前問(2)で示したすべての解決策を実施しても新たに生じうるリスクとそれへの対策について、専門技術を踏まえた考えを示せ。

III-2 高度成長期に大都市郊外に計画的に開発された分譲マンションを主とする大規模住宅団地では、開発から長期間が経過して様々な課題が顕在化しつつあり、居住者のニーズも踏まえつつ、持続可能な住宅団地として再生することが求められている。

このような状況を踏まえ、以下の問い合わせ答えよ。

- (1) 開発から長期間が経過したことによって生じている課題を、技術者としての立場で多面的な観点から3つ抽出し、それぞれの観点を明記したうえで、その課題の内容を示せ。
- (2) 抽出した課題のうち持続可能な住宅団地として再生するために最も重要と考える課題を1つ挙げ、その課題に対する複数の解決策を示せ。
- (3) 前問(2)で示したすべての解決策を実施して生じる波及効果と専門技術を踏まえた懸念事項への対応策を示せ。